授業科目	教育原理(教職課程科目)					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	1	開講時期	後期
担当教員	木村　政伸						
授業概要	人間、子ども、性といった教育の前提になる要素について検証し、家族、学校そして社会という教育環境とその理論及び課題について哲学的歴史的に思考の根拠を身につける。 授業では、反転授業、ディスカッション（討論）、ディベート、グループワークなどを行う。						
授業形態	講義				授業方法	反転授業、ディスカッション（討論）、ディベート、グループワーク Classrrom を通じて、事前の自主学習を要する。	

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	・哲学的、思想的な人間理解をすることができる。 ・教育学の諸概念並びに教育の本質及び目標を理解している。 ・子ども・教員・家庭・学校など教育を成り立たせる要素とそれらの相互関係を理解している。 ・性、ジェンダー、LGBT など性を通しての人間理解ができる。 ・家族と社会による教育の歴史を理解している。 ・近代教育制度の成立と展開を理解している。 ・現代社会における教育課題を歴史的な視点から理解している。 ・学校や学習に関わる教育の思想を理解している。 ・代表的な教育家の思想を理解している。 ・人権の観点から教育を捉えることができる。 教育の基礎的知識を身につけるとともに、現実の諸問題について説明することができる。 他者の意見を理解し、自らの考えを伝えることができる。
理想的レベル	教育の原理的理解を深めるとともに、現実の諸問題の考察を応用的に展開することができる。具体的には、自身の教育の体験を相対化し、当たり前と思われている教育の在り方について深く考察し、その過程を経て自身の教育観、子ども観、さらには社会観を新たに自覚・構築できる。 さらには、他者の意見を傾聴し、自身の考えを他者へ伝えることができ、意見の交流から新しい思考枠組みへと発展できる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト	90%	
レポート		
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物	10%	
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	WE14102J

学習課題（予習・復習）	1回の学習目安（時間）
復習：該当部分の復習	4

授業計画	
第1回	「教育」とは何か―可能性と必要性―
第2回	「子ども」とは何か―「子ども」の描かれ方から見る―
第3回	「子どもの発見」―ルソー『エミール』の意義―
第4回	家族と母性の歴史
第5回	日本の伝統的子育て （小テスト）
第6回	子どもと遊び―フレーベルの思想と現代の遊び
第7回	「学校」とは何か―自主夜間中学での学びから―
第8回	世界の学校―さまざまな学校の構成
第9回	「学校」を考える
第10回	学校に行くことの意味 （小テスト）
第11回	義務教育の成立
第12回	国民国家と教育
第13回	学校文化を考える―身体技法と近代― （小テスト）
第14回	学校と多様性―障がい児の就学問題―
第15回	総括―授業を通して獲得したことと課題の確認― （小テスト）
テキスト	テキストは特に用いない。プリント配布予定。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	最初の授業に印刷して配布
課題に対するフィードバックの方法	小テストは、採点後授業の中で解答例を示しながら解説をし、各自には点数を知らせる。
学生へのメッセージ・コメント	教職課程の入門科目であるため、目的意識をもち主体的に参加することが重要です。 予習、復習をおこない、授業内容を確実に身につけてください。また、学校教育に関わる新聞、雑誌などの記事を読んだり、TVの教育関連番組を視聴し、教育の動向について関心をもつことが大事です。